

平成二十五年  
いのち

# 生命の言葉

# 十二月

過去は過去として葬らしめよ  
そして新しくよき運命を  
拓いて行けばいいのだ

志賀直哉

裏面もご覧ください。

# 十二月 生命の言葉

過去を引きずって生きていても、いいことはない。過ぎてしまったことは、どうにもできないものである。大切なのはこれからだ。過去のこととは清算し、生まれ変わった気持ちで生きていこう。

出典『暗夜行路』

志賀直哉（しがなおや）

一八八三〜一九七二年。小説家。宮城県生まれ。調和的な人生観に根ざす『和解』などの作品を発表。『暗夜行路』は唯一の長編小説で、心情や自然風景の描写に優れた名作として知られる。一九四九年文化勲章受賞。

冬至の候ご参拝の皆さまの願い事はきつと神さまに届きます

東京都神社庁

<http://www.tokyo-jinjacho.or.jp/>



遷宮で結ぶ人の輪 心の輪  
第六十二回神宮式年遷宮